1年生 職業人講話で学んだことが 新聞に掲載される!

北陸中日新聞 朝刊 令和3年3月2日(火)

やりたい仕事 誰かのために 中学生 手取 賢輔 13 石川県白山市

「人生は自分のものだから、 良いことも悪いこともあるが、 いろんな職業があるから自分の やりたいことを素直にやればい い」。こうおっしゃったのは職 業人講話に来てくれた北陸製菓 の社長高崎憲親さんだ。働くこ とは窮屈だというマイナスイメ ージがあったが、僕はこの言葉 で働くことに興味を持てた。高 崎さんは人の喜ぶ顔を見るため に仕事をしてきたそうだ。僕は ここで、誰かのために人は働く んだと気付かされた。

どんな仕事につきたいとかいう具体的なものはまだないが、いつか誰も思い付かなかったことをやってみ



たい。だから、まずは身近な夢から始めていこうと思う。勉強と部活の両立など、近い夢を積み重ねていけば必ず僕の大きな夢にたどり着くはずだ。

そして、良いことも悪いこと も受け止め、自分のやりたいこ とをできる大人になりたい。

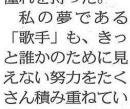
北陸中日新聞 朝刊 令和3年3月5日(金)

頑張っている姿 強い憧れ

中学生 表 虹星 13 石川県白山市

職業人講話を受けて自分の将来への考え方が変わった。元カタール航空のキャビンアテンダント清左優美さんから、仕事には重責があり困難な中でも、人を笑顔にし役に立てるものだと学んだ。

私は今まで、働くことは人を ただ応援するものだと思ってい た。でも、人の役に立つために はさまざまな困難を乗り越えて いかなければならないのだと気 付いた。そして、誰かのために 努力し、頑張っている姿に強い 憧れを持った。





る。今の私にできる努力は何だろう。歌の練習にしても、英語の発音や音程を正しく取る練習など、今すぐできることがあるはずだ。私にできることを探し、未来の私の世界を広げ、普段の生活の中から自分らしさを見つけていきたい。